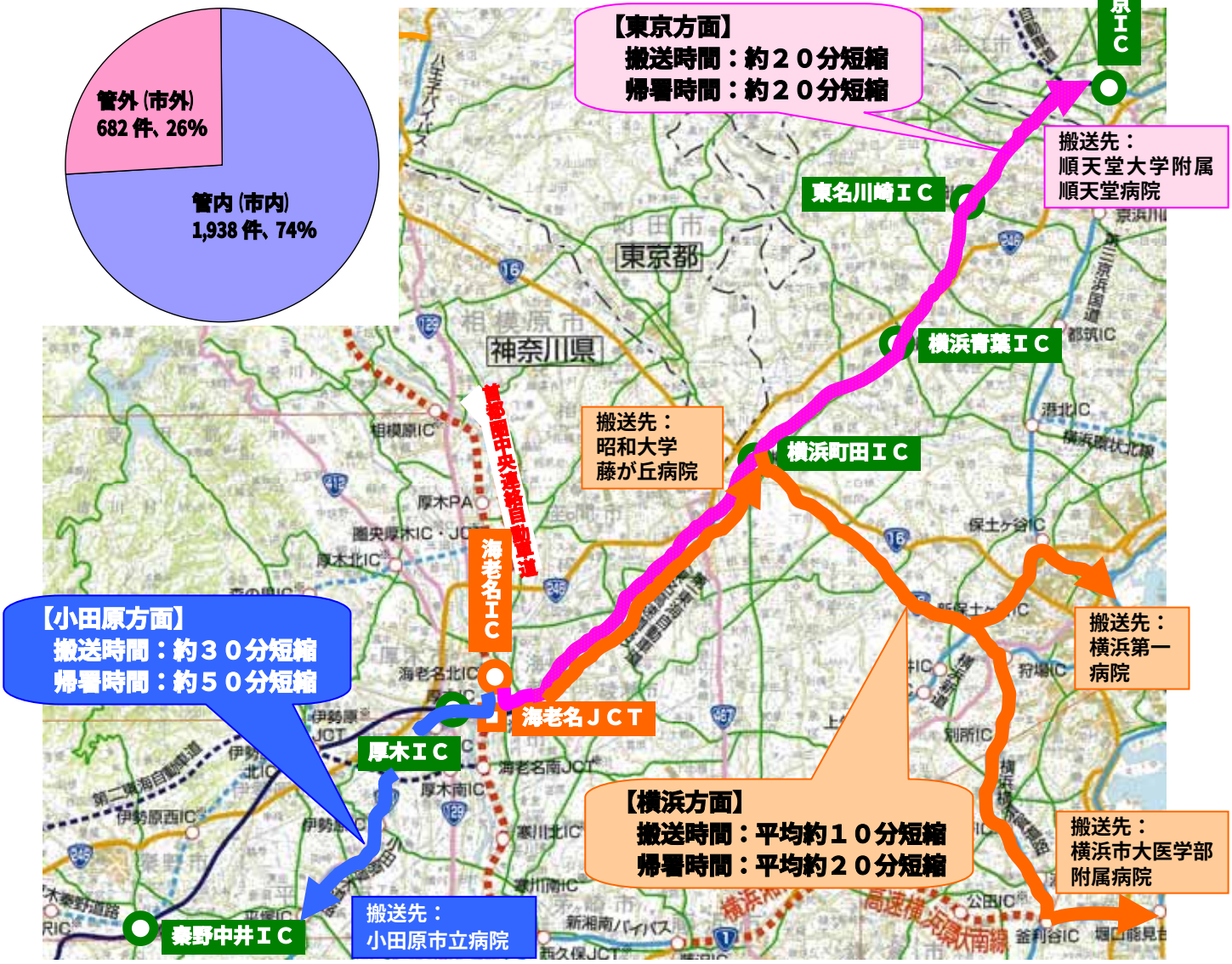
３．救急搬送等における所要時間の短縮

・海老名市消防本部では、今年３～８月の半年間における総搬送件数は２,６２０件で、うち管外への搬送が６８２件ありました。
・海老名ＩＣ～海老名ＪＣＴの開通後、同区間を利用した救急搬送件数は１１件で、東京都内や横浜市内、小田原市内の病院への搬送でした。

（平成２２年８月３１日現在）

・これらの搬送を開通前後で比較すると、東京方面で約２０分、横浜方面で約１０分、小田原方面で約３０分短縮しており、患者の方々の早期治療に寄与しています。
・また、帰署時間も東京方面からは約２０分、横浜方面からは約２０分、小田原方面からは約５０分短縮しており、救急車の不在時間が減少しています。

海老名市消防本部（搬送件数内訳）平成 22 年 3 月～8 月



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地勢図を複製したものである。（承認番号　平 21 業複、第 765 号）

※救急搬送に関するデータは、海老名市消防本部のデータを基に作成。

※各方面への搬送時間、帰署時間の短縮は、平成 21 年度と平成 22 年 3 月～8 月までの実績のうち搬送先が同じものを単純比較した結果であり、今後の搬送における時間短縮を確約するものではありません。また、同じ搬送先でも全く同じルートを利用するものではありません。